



常林寺に建つ記念碑



浅羽佐喜太郎公記念碑 落成。前列右から二人目がファン・ボイ・チャウ

ベトナムと日本を結んだ義侠の心

浅羽 佐喜太郎

あさば さきたろう (1867~1910)

明治38年、ベトナム独立運動の指導者ファン・ボイ・チャウは、仏領下の同国の窮状を訴え、来日。しかし日本政府はこれを支援せず、仏政府の要請でベトナム人留学生への圧力を強めます。その困窮の中、援助の手を差し伸べたのが、神奈川県で開業していた袋井(梅山)出身の医師、佐喜太郎でした。佐喜太郎は翌年に病気で早逝。その死を知ったファンは再び日本を訪れ、菩提寺の常林寺(袋井市梅山)に感謝と追悼の意を刻んだ記念碑を建てました。両国を結ぶ義侠の精神は、今も語り継がれています。

台湾の荒野を緑の農地に変えた奇跡の人

鳥居 信平

とりい のぶへい (1883~1946)

日本統治時代の台湾で、伏流水を利用した「地下ダム」というユニークな工法で環境を破壊せずに荒地を潤す偉業を成し遂げた袋井(上山梨)出身の水利技師。工事から100年近く経った現在も、台湾南部の20万人を超える人々がこのダムの恩恵を受けて暮らしています。近年その功績が再評価され「袋井市月見の里学遊館」に台湾の著名な実業家から胸像が寄贈されました。その眼差しは、はるか南西の台湾に向けられています。



いまの袋井を形作った

郷土の偉人たち



近代耕地開発の祖

名倉 太郎馬

なぐら たらうま (1840~1911)

明治5年、3つの河川が合流し、水害の絶えなかった彦島地域の畦畔改良工事に、自らの所有する水田を実験田として提供。この改良工事で大きな成果を上げ、田周辺の道路、用排水路・河川の整備に積極的に取り組み、耕地整理の区割りを村内に広めました。これは日本初の耕地整理事業の成功と言われ、のちに「静岡方式」として全国に広がりました。また農業面だけでなく、生活・風習の改善にまで尽力し、生涯地域のために働きました。

Fukuroi
ゆかりの
偉人

世界に認められた最初の日本人オペラ歌手と
その夫で、緑茶中のビタミンCを発見した研究者

三浦 環・三浦 政太郎

みうら たまき (1884~1946)・まさたろう (1879~1929)

三浦環・政太郎とも静岡県出身。環は日本人初の世界的オペラ歌手で、1915年のロンドン公演の成功を皮切りに、世界各国で2千回にわたりオペラ「蝶々夫人」の主役・蝶々さんを演じ、作曲者のプッチーニからも「世界で一人の理想の蝶々さん」と絶賛されました。その夫・政太郎は優秀な医学者で、環とともに滞在したロンドンでビタミンを研究。1921年に日本に単身帰国し、医学博士として活躍する中、1924年に緑茶にビタミンCが豊富に含まれ、保存状態によっては2、3年間保有されることを発見し、海外への日本茶の輸出拡大とその後の緑茶研究の礎を築きました。政太郎の墓は袋井市の正観寺にあり、海外公演中に一時帰国し、政太郎の墓を訪れた環は、墓石を抱き泣き崩れたといひます。環の位牌も、同寺に納められています。



正観寺(袋井市国本)にある政太郎の眠る墓

